

施策番号	1304		
施策名	子どもを安心して生き健やかに育てることのできるまちづくり		
概要	妊産婦の心身の健康の保持，増進を図るとともに，子ども特有の事故，病気などへの対応など，母親と子どもの総合的な保健医療を充実する。		
担当局・部室	保健福祉局・子育て支援部	共管局・部室	保健福祉局・保健衛生推進室
上位政策	13 子育て支援		
施策に関する主な分野別計画等	京都市未来子どもプラン		

施策の評価

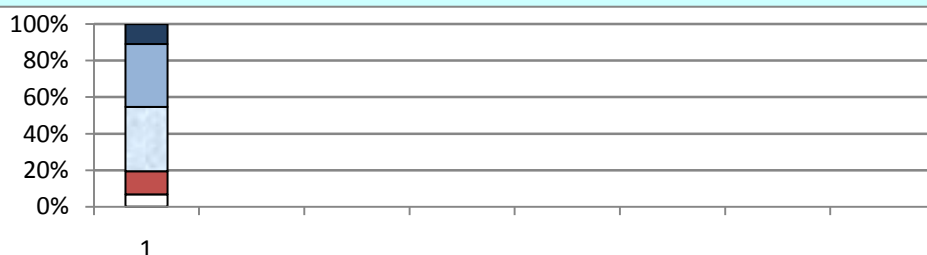
1 客観指標評価

指標名	年度	23年度	24年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 1歳6か月児健康診査受診率(未受診者への支援を含む)(%)	-	b	99.3	99.1	100	99.1%	b	1.00
2 生後4か月までの乳児のいる家庭への訪問率(未訪問家庭への支援を含む)(%)	-	b	98.9	99.6	100	99.6%	b	1.00
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
		b	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価

*この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	24年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 必要などきに健康相談を受けたり，病院に行けたり，安心して子どもを生き育てることができる。	55	174	178	64	34	505	b	
	10.9%	34.5%	35.2%	12.7%	6.7%			
2 -							-	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
						市民生活実感調査総合評価		b



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					23年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	b	<input type="checkbox"/> 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 出産や育児に関する環境整備の評価については、評価を行う市民の状況(年齢層、家族構成等による出産・育児への関わり具合)により実感が大きく異なる可能性があり、実際の施策の利用状況を示す客観指標評価を重視する必要があるため。						年度	-
(原因分析) ・客観指標としている「1歳6か月児健康診査」及び「生後4か月までの乳児のいる家庭への訪問」については、従来から高い実施率を確保しているが、平成22年度から、従来の実施率の向上に加え、リスクの高い「未受診者」及び「未訪問者」の状況把握を含め積極的なアプローチを展開することにより、対象となる乳幼児やその家庭全てについて必要な支援を行うことを目標に掲げて取り組んだ結果、b評価となり、市民生活実感調査総合評価においても、こうした取組の充実がb評価につながったものと考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		23年度決算額	24年度予算額		
1	子ども医療費支給事業	1,556,618	1,789,584	良い	保健福祉局
2	京都社会福祉協会助成	7,291	4,261	かなり良い	保健福祉局
3	民間社会福祉施設(民営保育園)単費援護	4,937,636	3,323,954	かなり良い	保健福祉局
4	保育所運営費支弁事業(市単費分)	2,997,109	2,930,750	悪い	保健福祉局
5	民営保育所延長保育事業	513,385	533,317	かなり良い	保健福祉局
6	昼間里親運営委託	409,237	475,625	良い	保健福祉局
7	民間社会福祉施設産休等代替職員費補助	22,798	-	-	保健福祉局
8	保育団体事業補助	20,592	24,415	良い	保健福祉局
9	公営保育所運営	5,015,524	5,030,445	かなり良い	保健福祉局
10	公営保育所延長保育事業	68,224	68,224	普通	保健福祉局
11	公営保育所一時保育事業	55,654	55,591	良い	保健福祉局
12	公営保育所休日保育事業	8,947	9,569	普通	保健福祉局
13	保育所職員の資質向上のための研修プログラム	9,792	10,903	かなり良い	保健福祉局
14	病児・病後児保育事業	38,307	35,493	かなり良い	保健福祉局
15	認可外保育施設補助事業	-	2,116	-	保健福祉局
16	出産お祝いレター等お届け事業	5,393	5,421	良い	保健福祉局
17	～地域で支える～すくすく子育て応援事業	-	2,216	-	保健福祉局
18	妊婦健康診査	1,037,396	1,043,791	良い	保健福祉局
19	先天性代謝異常等検査	20,574	33,031	かなり良い	保健福祉局
20	新生児等訪問指導事業	125,000	133,257	良い	保健福祉局
21	不妊治療費助成制度	278,295	309,403	かなり良い	保健福祉局
22	乳幼児健康診査	306,190	310,011	良い	保健福祉局
23	結核児童療育給付(市単独分)	-	227	-	保健福祉局
24	小児慢性特定疾患治療研究事業	59,633	53,549	良い	保健福祉局
25	すくすく子育て情報発信事業	5,650	5,952	かなり良い	保健福祉局
26	「子どもの事故防止実践マニュアル」お届け事業	2,613	2,639	良い	保健福祉局
27	親子の健康づくり講座	78,198	80,498	普通	保健福祉局
28	妊娠期からの子育て支援	72,870	110,169	悪い	保健福祉局
29	母子保健通訳派遣事業	-	7,511	-	保健福祉局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・妊婦に安心して妊娠・出産の時期を過ごしていただくためには、妊娠期から出産・育児期まで切れ目のない支援を行うことが大切であり、引き続き、受診率、訪問率の向上を含め現行の各種母子保健事業を推進するとともに、妊娠期における支援強化を行う必要がある。

・その一環として、平成23年4月から母子健康手帳交付時に全ての妊婦への面接・相談を行うとともに、7月からは保健センターの保健師及び嘱託助産師等が妊婦の家庭を訪問し、出産や子育てに関する不安や悩みの相談に応じる「こんにちはプレママ事業」を開始するなど、更なる取組の推進を図る。

施策名	1304	子どもを安心して生み健やかに育てることのできるまちづくり				
指標名	1歳6か月児健康診査受診率（未受診者への支援を含む）（％）					
担当課	保健医療課	連絡先	222-3420			
1 指標の説明						
1歳6か月児健康診査対象児童のうち、保健センター実施の1歳6か月児健康診査を受診した者、及び未受診ではあるが別途保健センターにより必要な状況把握や適切な支援が行われた者の割合						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
幼児と母親向けの保健サービスの充実状況を示す指標			算出方法：(1年間の健康診査受診者数+1年間の健康診査未受診者の内必要な支援実施者数)÷1年間の年齢該当者数×100 出典：保健事業実績表			
4 数値						
	前回数値 22年度	最新数値 23年度	推移	目標値		
数値	99.3	99.1	0.2ポイント減	数値 100	根拠 すべての子どもの健やかな成長を図る必要がある。	
	全国順位	中長期目標			備考	
数値		数値	目標年次	達成度		
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新数値が a:100% b:99%以上～100%未満 c:98%以上～99%未満 d:97%以上～98%未満 e:97%未満			新「京(みやこ)・子どもいきいきプラン」における1歳6か月児健康診査の数値目標(平成21年度:97% ※実績95.9%)を踏まえ、97%以上を最低ラインとし、100%まで1%刻みで基準を設定した。		23 24 - b b	

指標名	生後4か月までの乳児のいる家庭への訪問率（未訪問家庭への支援を含む）（％）				
担当課	保健医療課	連絡先	222-3420		
1 指標の説明					
生後4か月までの乳児のいる家庭のうち、保健センター実施の新生児等訪問指導事業（こんにちは赤ちゃん事業）により家庭訪問が行われた家庭、及び未訪問ではあるが別途保健センターにより必要な状況把握・適切な支援が行われた家庭の割合					
2 指標の意味			3 算出方法・出典等		
子育て家庭向けの保健サービスの充実状況を示す指標			算出方法：(1年間の訪問家庭数+1年間の未訪問家庭の内別途必要な対応を行った家庭数)÷1年間の訪問対象家庭数×100 出典：保健事業実績表		
4 数値					
	前回数値 22年度	最新数値 23年度	推移	目標値	
数値	98.9	99.6	0.7ポイント増	数値 100	根拠 すべての子どもの健やかな成長を図る必要がある。
	全国順位	中長期目標			備考
数値		数値	目標年次	達成度	
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果
最新数値が a:100% b:96%以上～100%未満 c:93%以上～96%未満 d:90%以上～93%未満 e:90%未満			平成21年度の訪問率(未訪問家庭への支援を除く)実績89.2%を踏まえ、90%以上を最低ラインとし、100%まで3%刻みで基準を設定した。		23 24 - b b